

中学生が考える 日常生活の課題と対策



令和5年7月
川越市

川越市が中学生に意見を聴く理由

- 令和5年4月にスタートした「こども基本法」は、政府や自治体が子どもに関する政策を進めるときに、子どもや保護者など当事者の意見を聴くこととしています。
- 皆さんは、学校以外にも家庭、塾、公園、図書館などさまざまな場所で活動し、さまざまな疑問や改善点などを感じることもあると思います。
- 皆さんが日頃気になっていることや見直したらよいことを川越市に教えてください。
- 皆さんの気づきやアイデアが、同世代だけでなく他の年代の市民にも共感され、よりよいまちづくりにつながります。

学校・家庭に関する困りごと（例示）

○学校編

- 教室の内装や体育館の設備が老朽化している
- 通学路が狭い、通学途中に危険個所がある
- 中学生が家庭以外で放課後や長期休業中に過ごせる場所がほしい など



○家庭編

- 家族の世話に時間を費やし、自分の時間がない
- 家族や自分の将来に関し第三者に相談したい など



公園・図書館に関する困りごと（例示）

○公園編

- 球技が自由にできる公園・グラウンドがほしい
- 多くの世代が集える大きな公園がほしい
- さまざまな競技が実施できる運動公園がほしい



など

○図書館編

- 蔵書を新しいものに更新してほしい
- 電子書籍を充実してほしい
- 自習スペースを増やしてほしい



など

その他市政に関する課題（例示）

- 市に関する情報の発信の工夫（若者向け）
- デジタル技術の活用
- 観光都市としての魅力の発信、地域に眠っている観光資源・歴史的資源の発掘
- 令和10年頃に人口減少を迎える川越市の活性化策（子育て世代の呼び込み、生産年齢人口（15～64歳）減少への対策）
- 小・中学校不登校への対応
- 保育園、小・中学校、道路、河川などの公共施設の老朽化
- 災害に強いまちづくり など

課題と解決策（例示）

【課題 1】

- 家庭以外で放課後や長期休業中に過ごせる場所がほしい

【解決策 1】

- 市内 18 の公民館を活用し、平日の午後 4 時～9 時 30 分の間空き会議室を開放し、自習室とする

【課題 2】

- 多くの世代が集える大きな公園がほしい

【解決策 2】

- 市街化調整区域に企業を誘致できる地区を設け、その中に多目的に利用できる多目的グラウンドを設ける。災害時には災害廃棄物の集積や仮設住宅の建設用地とする

課題と解決策（作成用）

【課題 1】

【解決策 1】

【課題 2】

【解決策 2】